

松原市セーフコミュニティ 交通安全対策委員会活動報告

一再々認証 事前指導

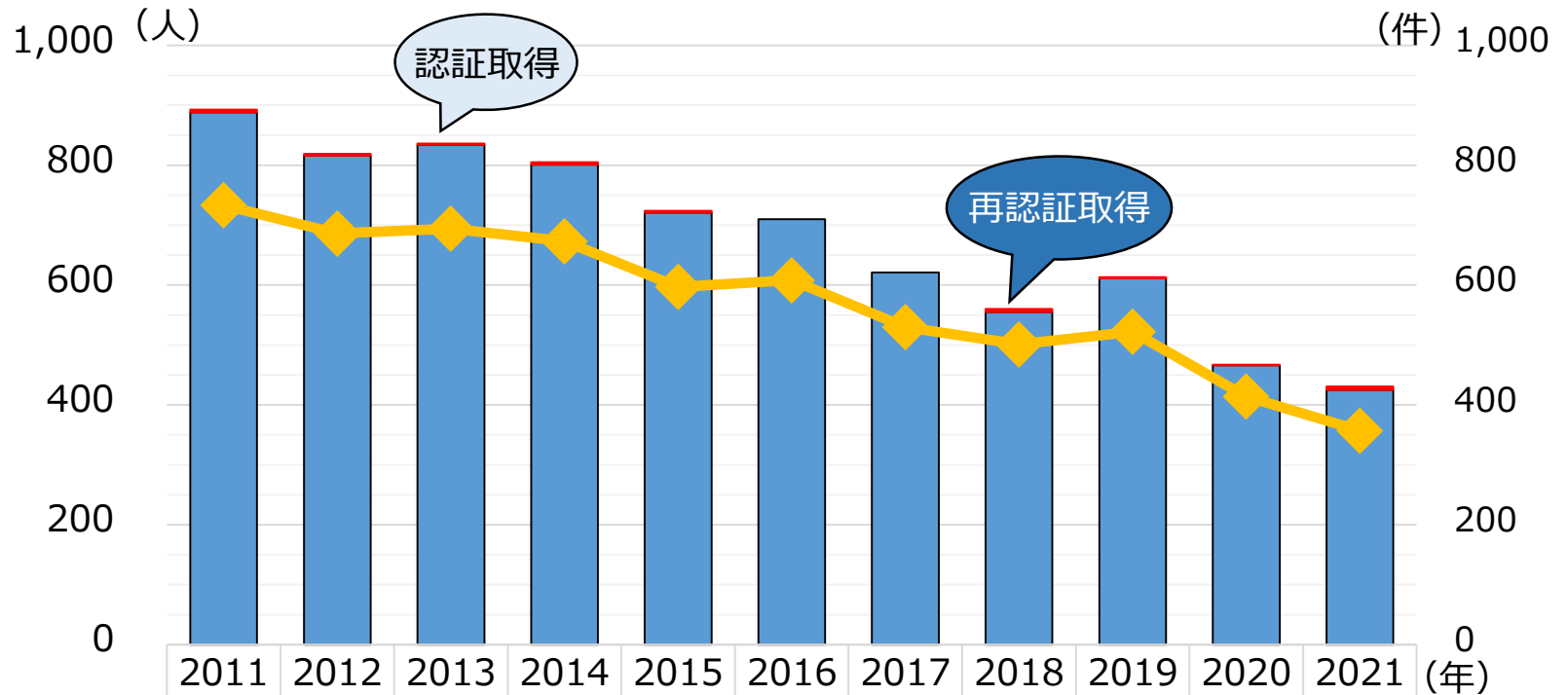
報告者：交通安全対策委員会 委員長 山本 剛
所属：松原交通安全協会 会長

対策委員会設置の背景①

松原市内の交通事故発生件数、死傷者数は年々減少しているが、交通事故発生件数は、まだ多い状況である。

(図表 1 : 松原市内の交通事故発生件数の推移 負傷者数および死者数の推移)

出典：警察統計データ（2011年～2021年）



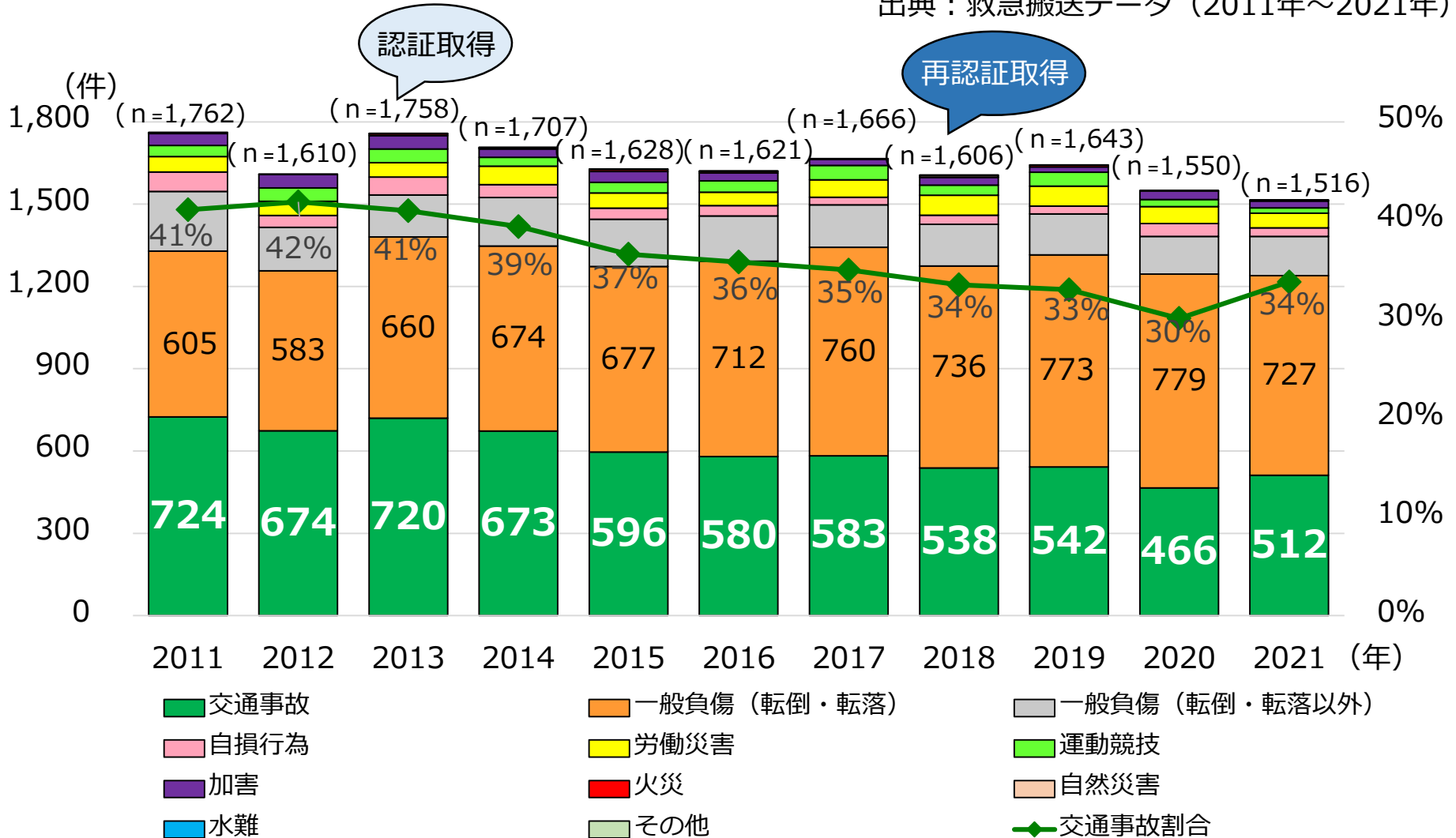
死亡者数	5	3	2	4	3	0	0	5	2	1	6	(人)
負傷者数	888	816	834	801	721	710	621	555	611	466	425	(人)
交通事故発生件数	733	686	694	673	597	608	530	501	522	414	357	(件)

対策委員会設置の背景②

事故別の救急搬送の中で交通事故は転倒・転落に次いで多い。
 (救急搬送の**3割以上**は交通事故による外傷)

(図表2：事故種別による分類 外傷・事故別救急搬送件数)

出典：救急搬送データ（2011年～2021年）

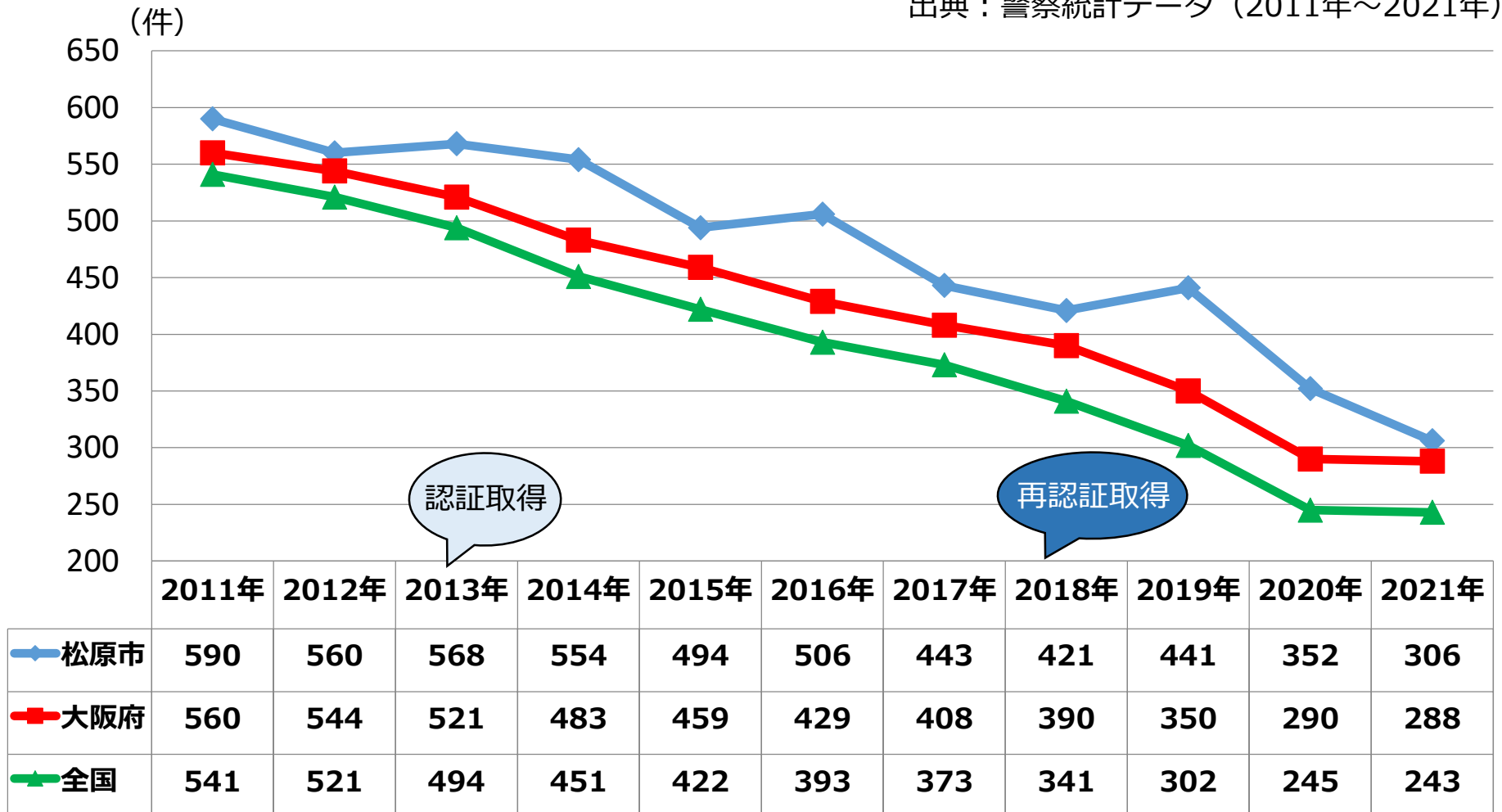


対策委員会設置の背景③

松原市内の交通事故発生件数は、国や府の平均を上回っている。

(図表 3 : 交通事故発生件数の推移件数 人口10万対)

出典：警察統計データ (2011年～2021年)



交通安全対策の必要性

背景①

松原市内の交通事故発生件数は年々減少しているが、まだ多い状況である。

(図表1)

背景②

事故別の救急搬送の中で交通事故が多い。

(図表2)

背景③

松原市内の交通事故発生件数は、国や府の平均を上回っている。

(図表3)



交通安全対策委員会の設置

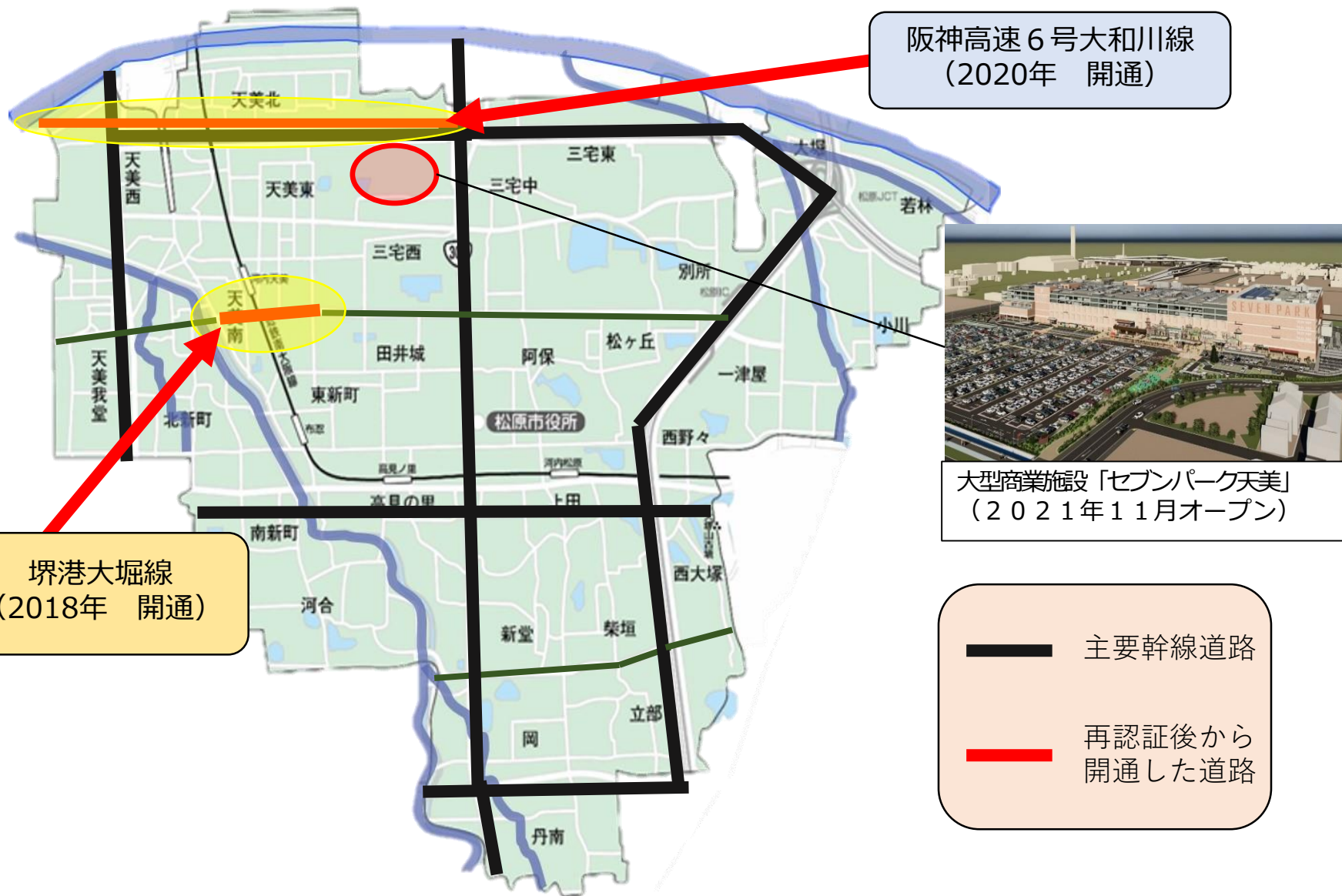
対策委員会の構成

区分	団体・組織名	委員数
住民組織等	松原交通安全協会	3名
	松原市町会連合会	6名
	松原市老人クラブ連合会	1名
	松原市青少年指導員協議会	1名
	松原市PTA協議会	1名
	松原商工会議所 (NEW)	1名
学校関係 (NEW)	大阪府立生野高等学校	1名
	大阪府立大塚高等学校	1名
	大阪府立松原高等学校	1名
	阪南大学高等学校	1名
行政機関	松原警察署	1名
	大阪府富田林土木事務所	1名
	松原市役所	5名

合計 24名 6

再認証後からの松原市内の交通環境について

松原市の交通環境は再認証後も変化している。

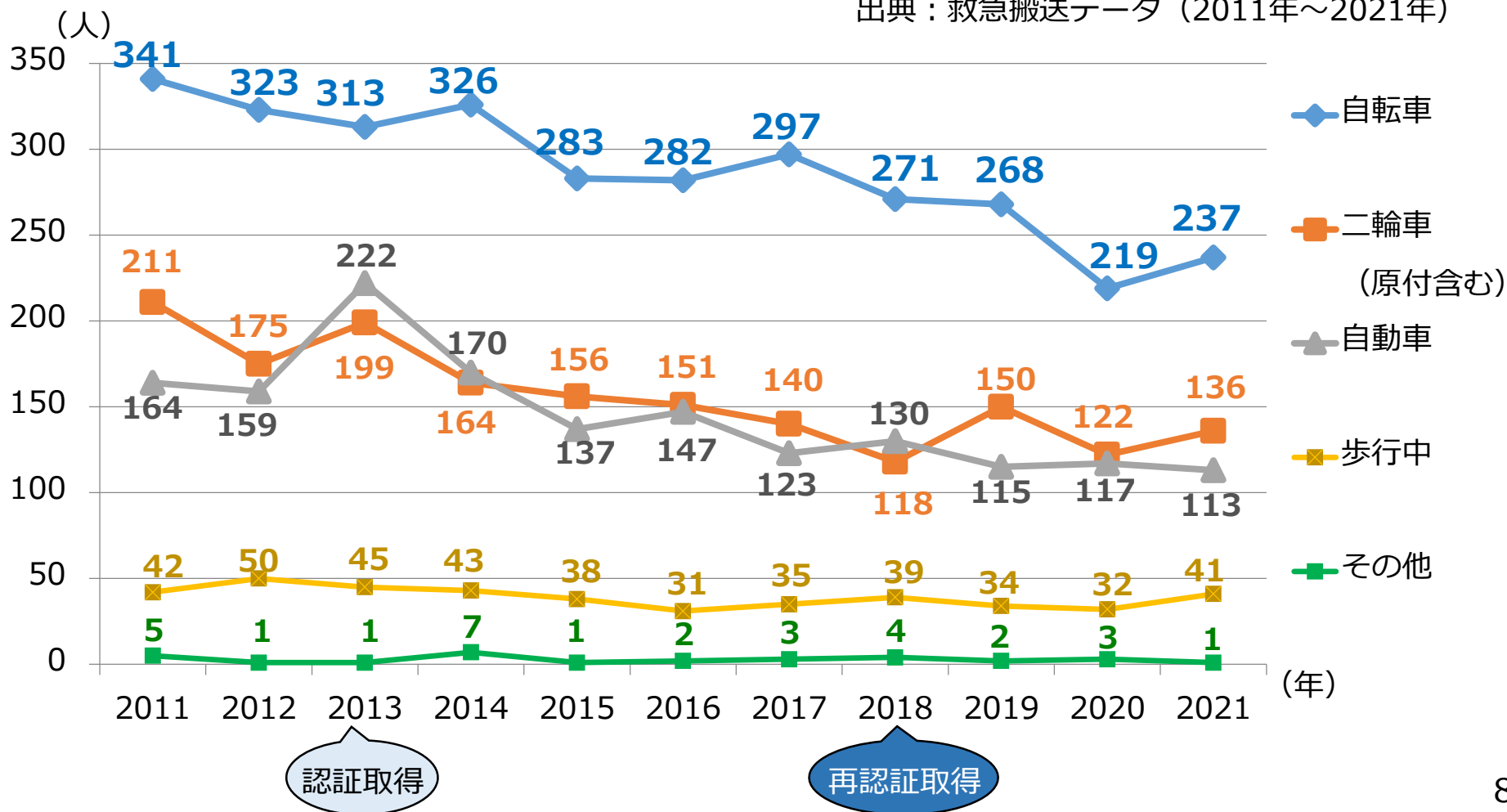


データに基づく客観的課題①

交通事故の行動別救急搬送の中で、自転車乗用中の事故における受傷者が多い。

(図表4:交通事故の行動別救急搬送の受傷者数)

出典：救急搬送データ (2011年～2021年)

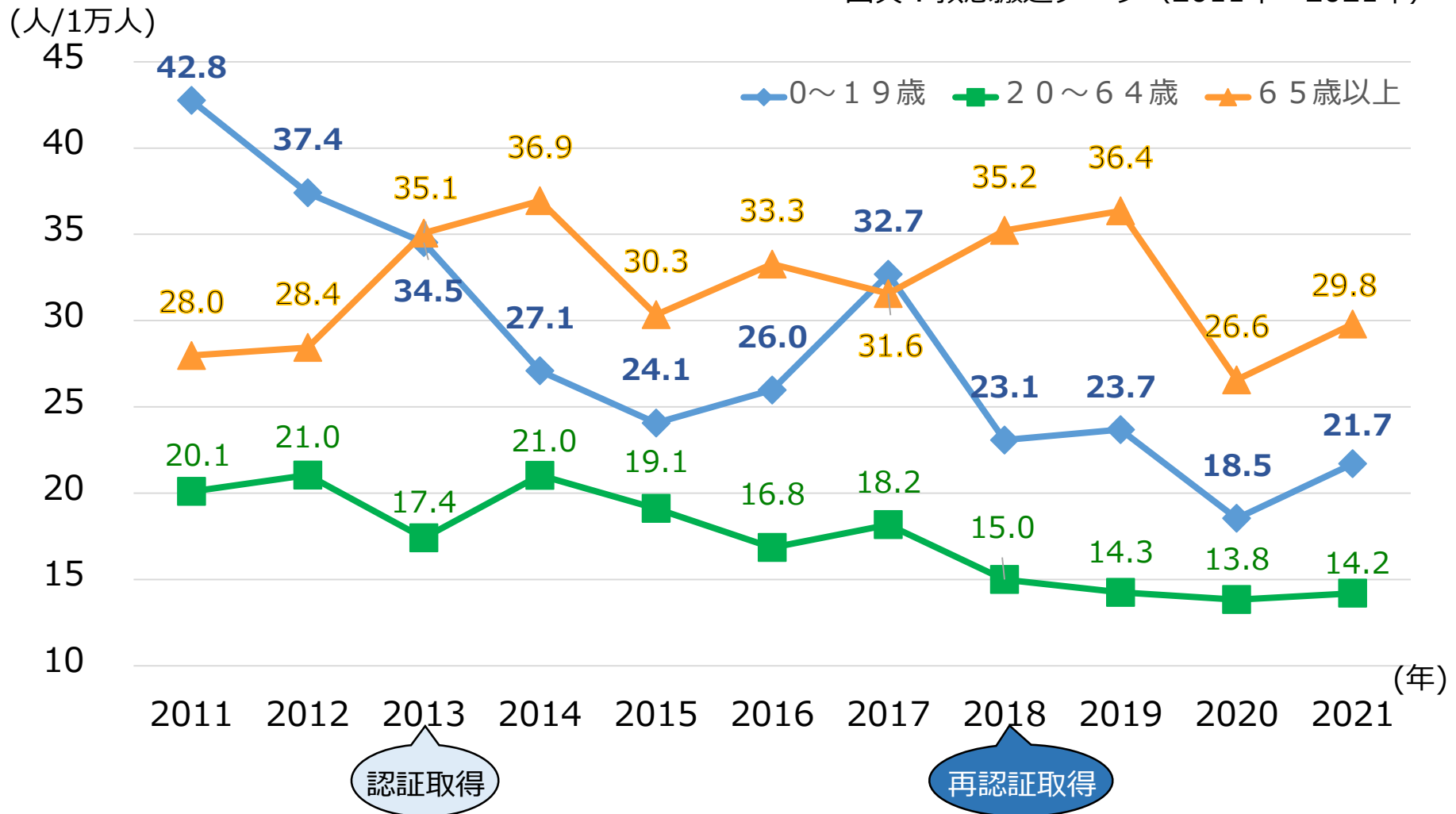


データに基づく客観的課題②

子ども（19歳未満）と高齢者に自転車事故が多い

（図表5:自転車乗用中受傷者の年齢別救急搬送率）

出典：救急搬送データ（2011年～2021年）

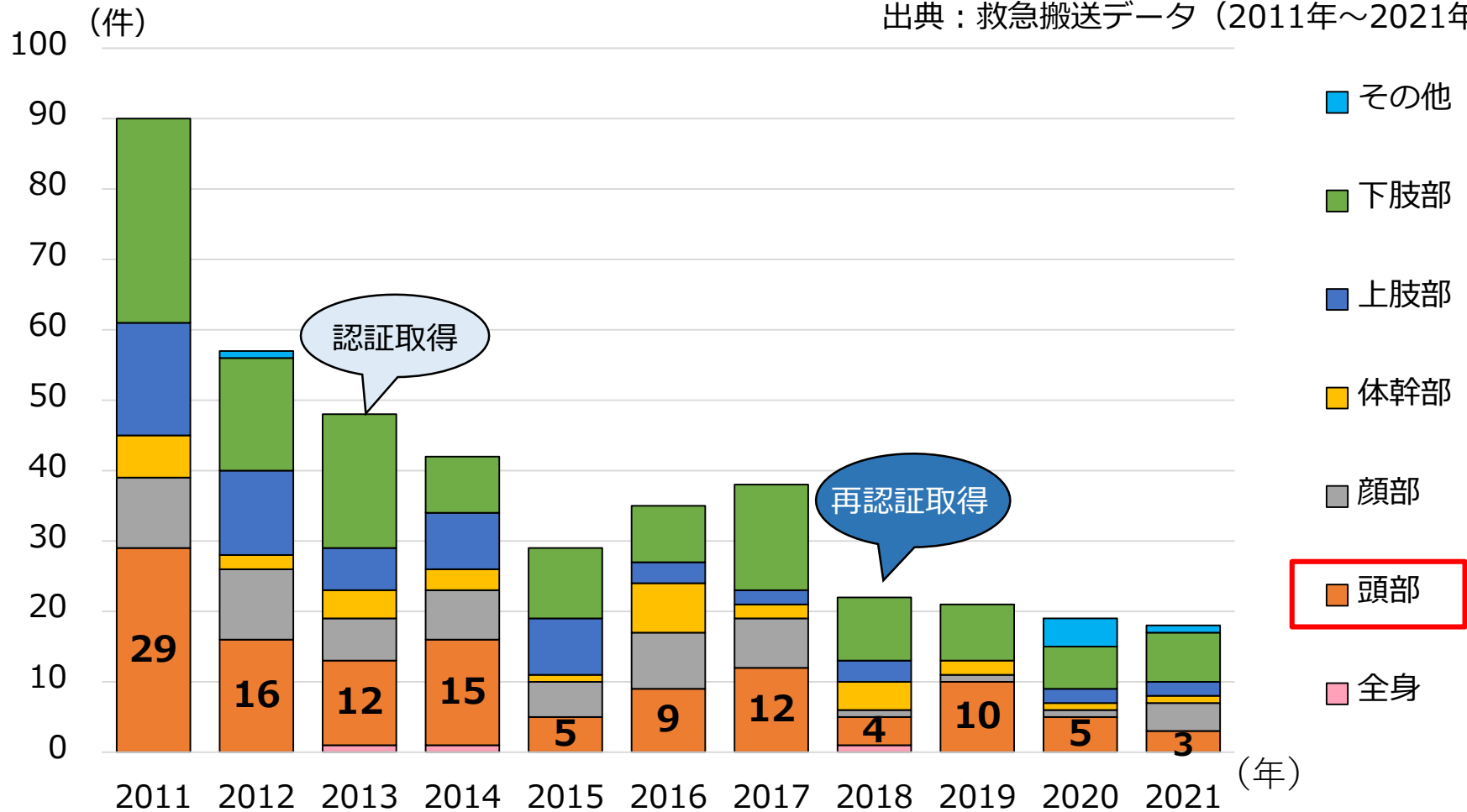


データに基づく客観的課題③

ヘルメット着用の努力義務のある13歳未満の子どもを対象に、自転車乗用中における受傷部位を見ると・・・**取組開始当初は頭部受傷が多かった**

(図表6：13歳未満の自転車乗用中受傷部位別集計の推移)

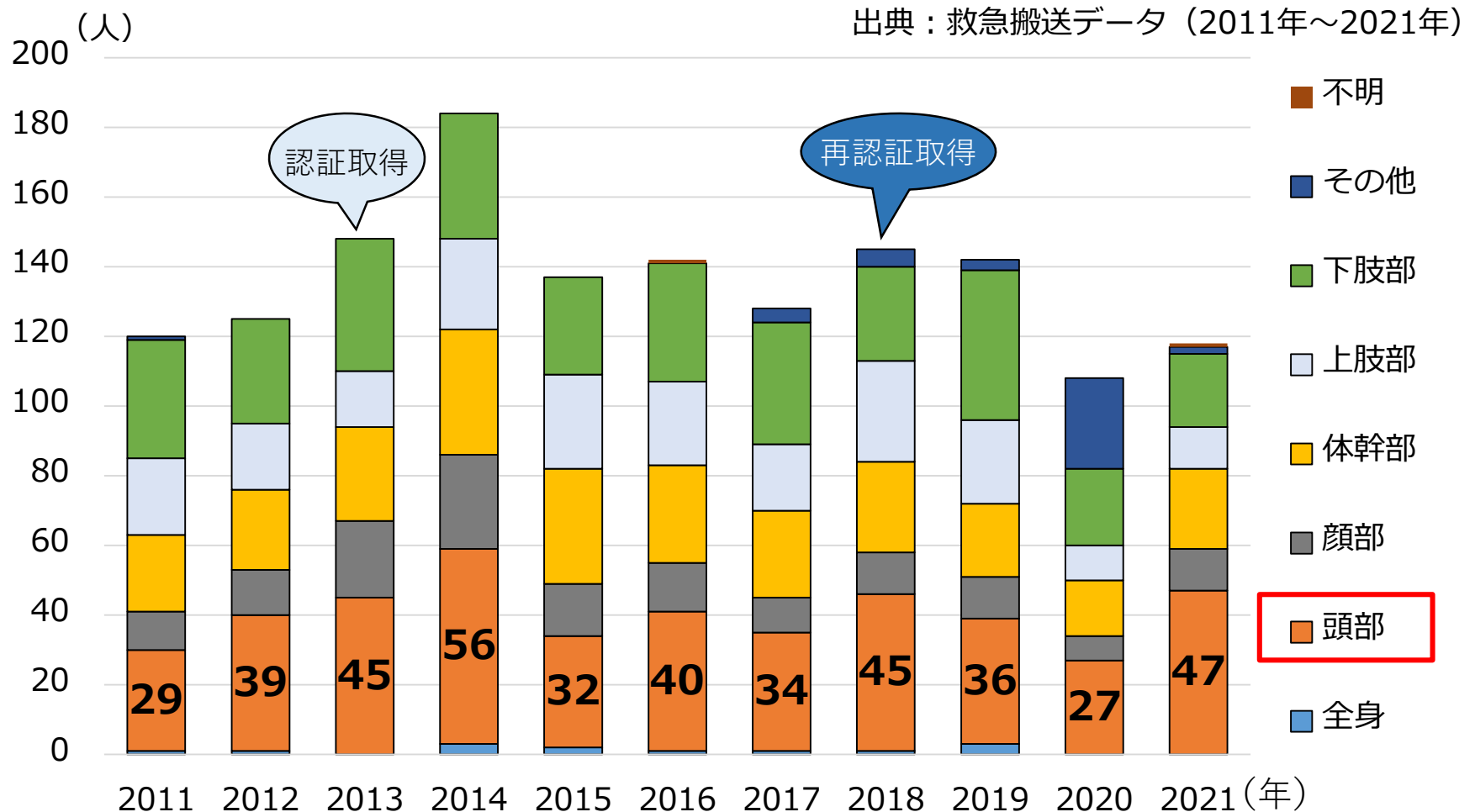
出典：救急搬送データ（2011年～2021年）



データに基づく客観的課題④

ヘルメット着用努力義務のある65歳上の高齢者を対象に、自転車乗用中における受傷部位を見ると・・・**高齢者は頭部受傷が多い**

(図表7：65歳上の自転車乗用中受傷部位別集計の推移)

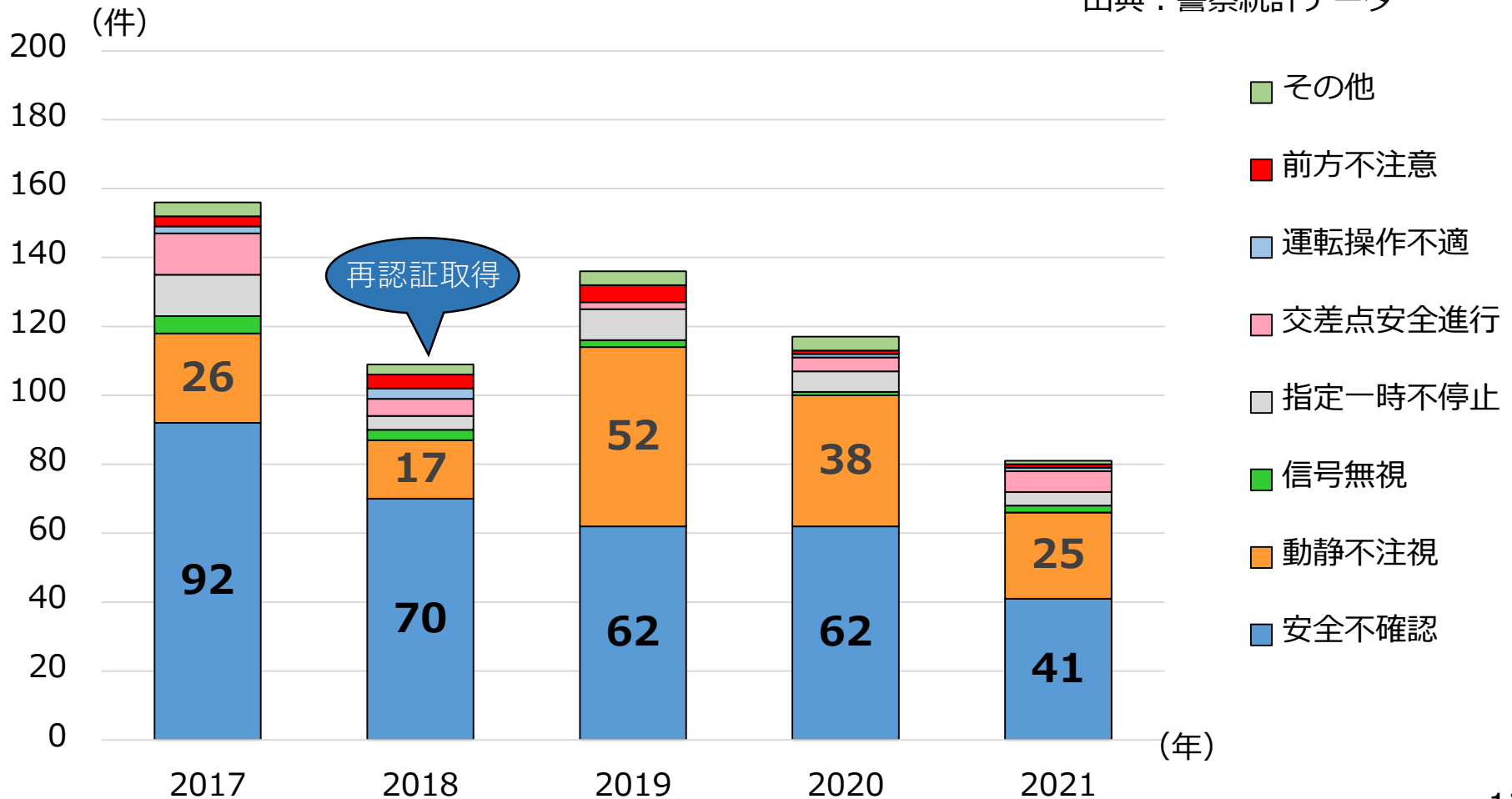


データに基づく客観的課題⑤

過去5年間の自転車事故の原因を見ると、**安全不確認と動静不注視**が占める割合が高い

(図表8：自転車関連事故の自転車側の事故原因)

出典：警察統計データ

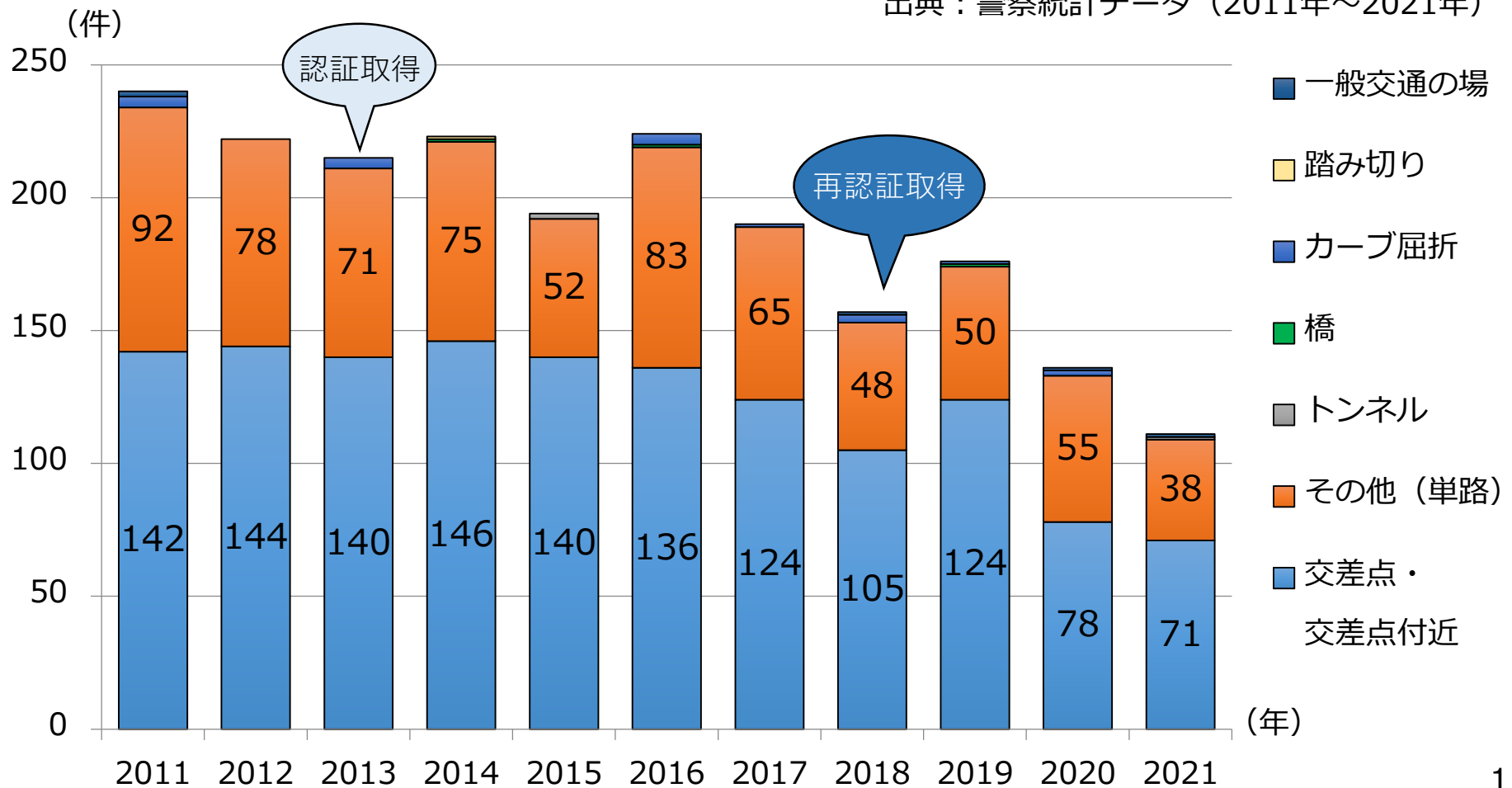


データに基づく客観的課題⑥

自転車の交通事故は交差点・交差点付近での事故が多い

(図表9: 場所別 自転車の交通事故発生件数の推移)

出典：警察統計データ（2011年～2021年）



重点課題の整理

【2018年（再認証時）】

課題①

子どもと高齢者の自転車乗用中の事故の割合が高い



図表 5



課題②

頭部受傷率が高い



図表 6
図表 7



課題③

自転車乗用者がルール違反をしている割合が高い



図表 8



課題④

交差点等、事故が起こりやすい場所がある



図表 9



【2021年】

課題①

子どもと高齢者の自転車乗用中の事故の割合が高い

課題②

頭部受傷率が高い

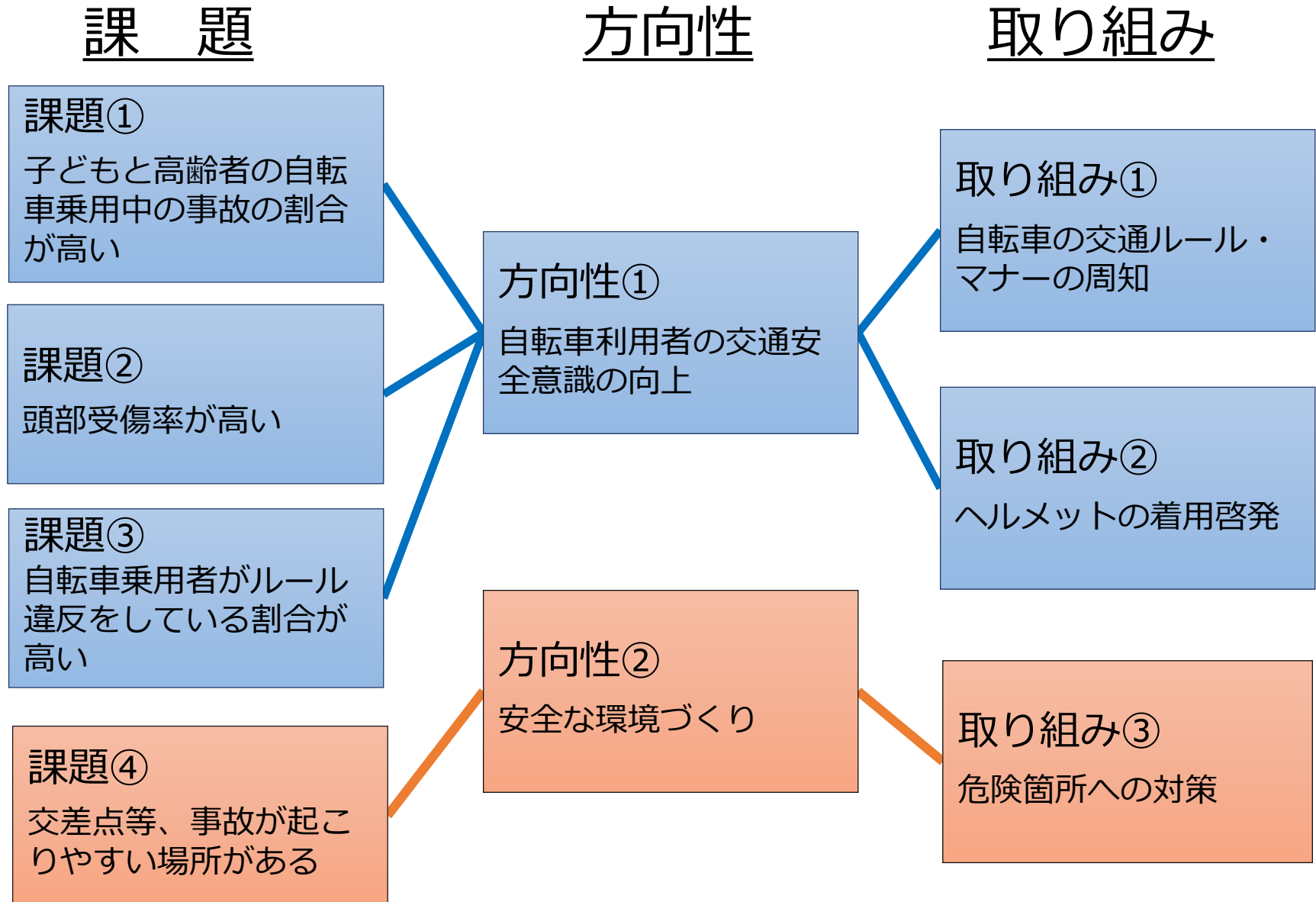
課題③

自転車乗用者がルール違反をしている割合が高い

課題④

交差点等、事故が起こりやすい場所がある

課題に対する取り組み



課題①③に対するレベル別の対策

課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域レベル
<p>(課題①) 子どもと高齢者の自転車乗用中の事故の割合が高い</p> <p>(課題③) 自転車乗用者がルール違反をしている割合が高い</p>	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通安全計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通安全教室 ◆広報、SNS等で啓発 <div style="border: 2px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <p>交通安全対策委員会</p> <p>取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室 ・街頭啓発活動 ・広報での周知、啓発活動 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学校、老人クラブ等での交通ルール・マナーの啓発
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆規制に関連する道路標識の設置、路面標示の施工(止まれ、ゾーン30等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆通学路対策 ① ◆路面標示 	
	規制罰則	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路交通法による規制・罰則 ◆大阪府自転車条例 ◆警察の取締り 		

課題①③に対するレベル別の対策

松原市 通学路対策 (例) ①



(施工前)



(施工後)




課題②に対するレベル別の対策

課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域レベル
(課題②) 頭部受傷率が高い	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通安全計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者自転車用ヘルメット購入費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町会、老人クラブ等でヘルメットの普及・着用啓発
	環境整備			
	規制罰則	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路交通法による規制 ◆大阪府自転車条例 		

交通安全対策委員会
取り組み② ヘルメットの着用啓発

- ・自転車用ヘルメットの考案
- ・街頭啓発活動
- ・町会、老人クラブ等への周知、普及・着用啓発

課題④に対するレベル別の対策

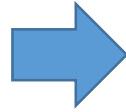
課題	対策			
	方向性	国・府レベル	市レベル	地域レベル
(課題④) 交差点等、 事故が起こりやすい場所がある	教育啓発	◆交通安全計画の策定	◆交通安全関係団体への活動費補助 交通安全対策委員会 取り組み③ 危険箇所への対策 ・街頭啓発活動 ・交通安全ポイントマップの活用	◆各学校、老人クラブ等での注意喚起 
	環境整備	◆国・府道の道路整備工事等の実施 ③ ◆信号機、横断歩道の設置	◆注意喚起の路面標示、看板設置カーブミラーの整備 ③ ◆市道の道路整備工事等の検討、計画、整備の実施（町会からの要望含む） ◆路面標示 交通安全対策委員会 取り組み③ 危険箇所への対策 ・危険箇所の整備	◆交通安全に関する注意喚起の看板設置 ◆道路、路面標示等の整備、工事について、町会から市へ要望を提出
	規制罰則	◆大阪府自転車条例		

課題④に対するレベル別の対策

道路環境の整備（例）②

松原市道の施工（例）

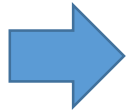
注意喚起の路面標示



国・府道の施工（例）



カーブミラーの整備



取り組みの状況

区分	実績					対策委員会の 関わり
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
交通安全教室	継続				更新 非接触型の 取り組みを 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針の検討 ・交通安全DVDの作成
ヘルメット着用 啓発	継続					<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針の検討 ・ヘルメット着用啓発ポスターの作成
危険箇所への対策 (交通安全ポイントマップ)	継続				更新 小中学校 全校へ周知	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全ポイントマップの更新

取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

🚲 ～交通安全教室～ 🚲

保育所・幼稚園等での交通安全教室



小学校での交通安全教室



※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施できず。

2022年度から、交通安全教室を再開

取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

🚲 ～土曜子ども体験交通安全教室～ 🚲

子どもと保護者が一緒に学ぶ機会！

トラック運転席からの見え方体験



自転車の乗り方指導



犯罪の防止対策委員会と合同実施

防犯教室



トラック 実演

制動距離



内輪差



※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施できず。

2022年度から、地域団体・企業の協力により再開



取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

🚲 ～元希者クラブ高齢者自転車大会～ 🚲

元希者クラブが主体となり、2014年から開催

松原市 元希者クラブ自転車大会



成績上位者が大阪府大会へ！

大阪府高齢者自転車大会



松原市の代表が優秀な成績を収めている。

取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

🚲 ～コロナ禍での工夫（非接触型の取り組み）～ 🚲

①交通安全教室動画の作成

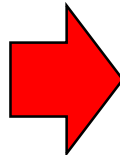


完成したDVDは
市内小学校全校へ配布

②交通安全DVDの貸出



保育園・幼稚園に貸出



交通安全DVD貸出申込書

年 月 日

施設名 _____
施設住所 _____
施設種 _____
連絡先名 _____
電話番号 _____
担当者 _____

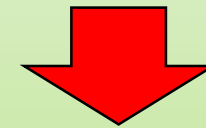
貸出希望期間
年 月 日から 年 月 日まで

貸出申請よりお申し込みください

<input type="checkbox"/>	区内にお住まいの保護者
<input type="checkbox"/>	区内にお住まいの保護者、子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター
<input type="checkbox"/>	子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター
<input type="checkbox"/>	子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター
<input type="checkbox"/>	子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター
<input type="checkbox"/>	子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター
<input type="checkbox"/>	子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター
<input type="checkbox"/>	子育て支援センター、子育て支援センター、子育て支援センター

貸出日
年 月 日 曜日

貸出時に
アンケートを実施



ルール・マナーの
認知度を確認

取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

実績と計画

実績と今後の計画	実績					計画
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
交通安全教室 (実地)	76回 11,378人	83回 12,241人	67回 12,626人	—	4回 2,165人	40回 7,000人
交通安全教室 (DVD鑑賞)	新型コロナウイルスの影響により 2020年度から 交通安全教室動画を配布 交通安全DVD貸出を実施			交通安全教室 動画 DVD配布 全小学校15校	交通安全DVD 貸出(幼稚園・ 保育所対象) 48回 1,262人	実地開催へ変更
対策委員会の 関わり	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室への参加の呼び掛け 高齢者自転車大会の参加 土曜子ども体験交通安全教室 			※新型コロナウイルスの影響 コロナ禍の関わり方 <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室動画の作成 (完成したDVDは市内小学校全校へ配布) 交通安全DVD貸出に伴うアンケート調査の検証 		

取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

指標に基づく測定結果①

◆意識・知識（短期指標） n = 総数 (出典：自転車利用者アンケート調査)

	2017	2018	2019	2020	2021
自転車ルール、マナーの認知度	89.2% (n=1,693)	89.6% (n=702)	90.5% (n=923)	—	84.0% (n=1,145)

※2020年 新型コロナウイルスの影響により交通安全講習会が実施できなかったため、アンケート調査実施できず

◆態度・行動（中期指標） n = 総数 (出典：けが及び安心・安全に関する実態調査アンケート)

	2017	2018	2019	2020	2021
自転車ルール、マナーを守っている人の割合	54.0% (n=1,073)	—	—	56.6% (n=1,269)	—

※自転車ルールのうち、最も重要度の高い「交差点での信号遵守と一時停止・安全確認」を守っている割合

取り組み① 自転車の交通ルール・マナーの周知

指標に基づく測定結果②

◆状況（長期指標）

（出典：救急搬送データ）

	2017	2018	2019	2020	2021
自転車乗用中の事故やけがの人数	297人	271人	268人	219人	237人

◆状況（長期指標）

（出典：警察統計データ）

	2017	2018	2019	2020	2021
自転車乗用中の事故やけがの人数	195人	151人	175人	135人	107人

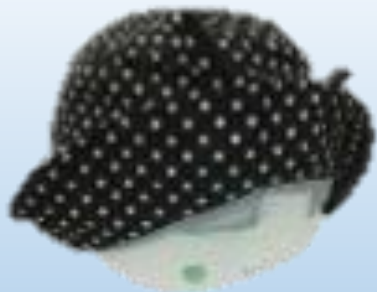
取り組み② ヘルメットの着用啓発

○なぜヘルメットを被らないのか??

(理由)

●ヘルメットがかっこ悪い!

対策!!



おしゃれな帽子に見えるヘルメット (自転車保険付き) を考案!!

(理由)

●みんな被っていない!

対策!!

市民まつりでの啓発



職員も着用



(理由)

●ヘルメットが高い!

対策!!

2016年度より
自転車用ヘルメット
購入費助成事業 開始

1,201人が活用
(2022年度末時点)

ヘルメット普及個数 大阪府下1位!!

(出典: 大阪府警本部)

取り組み② ヘルメットの着用啓発

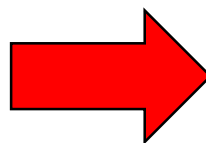
募集した標語を活用しポスターを作成
(市内小学生から応募数433件)



市長賞



委員長賞



署長賞



対策委員が店舗等へ掲示を直接依頼



掲示場所

- ・ 町会公民館
- ・ 幼稚園・保育所
- ・ 小学校
- ・ 老人センター
- ・ 自転車販売店 等 約200カ所

取り組み② ヘルメットの着用啓発

実績と計画

実績と今後の計画	実績					計画
	2017	2018	2019	2020	2021	2022～
高齢者 自転車用 ヘルメット 着用啓発	広報掲載 年2回	広報掲載 年2回	広報掲載・ 自転車用ヘル メットポ スター 標語の募集	広報掲載・ 自転車用ヘル メットポスター 完成 200部配布	広報掲載 社協だより	普及・着用率を 上げるため市民 への周知啓発を 継続。
高齢者 自転車用 ヘルメット 普及個数	累計 1,098個	累計 1,136個	累計 1,167個	累計 1,191個	累計 1,201個	目標（累計） 1,300個
対策委員会 の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・高齢者の自転車用ヘルメット着用の推進 ・自転車用ヘルメット普及・着用に関する内容の周知・啓発活動 ・自転車用ヘルメットポスターの作成・掲載依頼 					

取り組み② ヘルメットの着用啓発

指標に基づく測定結果①

◆意識・知識（短期指標）

（出典：自転車利用者アンケート調査）

	2017	2018	2019	2020	2021
就学前児童ヘルメットの重要性の認知度	73.8% (n=130)	67.3% (n=52)	67.0% (n=71)	-	64.2% (n=1,130)

※2020年 新型コロナウイルスの影響により、アンケート調査実施できず

（出典：市民意識調査アンケート）

	2017	2018	2019	2020	2021
高齢者のヘルメットの重要性の認知度	88.3% (n=154)	86.2% (n=196)	81.1% (n=180)	91.1% (n=180)	84.2% (n=391)

◆態度・行動（中期指標）

（出典：自転車利用者アンケート調査）

	2017	2018	2019	2020	2021
就学前児童のヘルメット着用率	26.9% (n=130)	32.6% (n=52)	28.1% (n=71)	-	29.6% (n=98)

※2020年 新型コロナウイルスの影響により、アンケート調査実施できず

（出典：市民意識調査アンケート）

	2017	2018	2019	2020	2021
高齢者のヘルメット着用率	6.2% (n=113)	4.3% (n=136)	2.5% (n=119)	3.1% (n=127)	3.6% (n=391)

取り組み② ヘルメットの着用啓発

指標に基づく測定結果②

◆状況（長期指標） n = 総数

（出典：救急搬送データ）

0～6歳	2017	2018	2019	2020	2021
自転車事故による子どもの頭部受傷率	69.2% (n=13)	30.0% (n=10)	60.0% (n=10)	55.6% (n=9)	25.0% (n=8)

65歳以上	2017	2018	2019	2020	2021
自転車事故による高齢者の頭部受傷率	30.4% (n=112)	35.7% (n=126)	27.7% (n=130)	28.4% (n=95)	44.3% (n=106)

全年齢	2017	2018	2019	2020	2021
自転車事故による頭部受傷率	31.0% (n=297)	28.7% (n=271)	29.1% (n=268)	24.6% (n=219)	34.2% (n=237)

取り組み③ 危険箇所への対策

～交通安全ポイントマップの活用～

交通安全ポイントマップ
(市内中学校7校区)

2014年度 全校区完成



活用事例

車止めの設置



路面標示の施工



取り組み③ 危険箇所への対策

～交通安全ポイントマップの更新～



道路環境等が変化したことから
改めて危険箇所について意見を収集

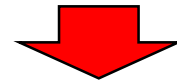
市内中学校



対策委員会

視察

視察の様子



○プロドライバーからも意見収集

- ・ 松原交通株式会社
- ・ 近鉄自動車学校



取り組み③ 危険箇所への対策

～街頭啓発活動（例）～

コロナ前の活動様子

道路整備



街頭啓発活動



コロナ禍での活動様子

道路整備



街頭啓発活動



※グリーンベルトとは、主に通学路や歩道が整備されてない道路で路側線があるところに施工。視覚的に歩行者には歩道として、ドライバーにも歩道であると認識してもらいやすく、速度制限にも繋がる。

取り組み③ 危険箇所への対策

実績と計画

	実績					計画
	2017	2018	2019	2020	2021	2022
交通安全ポイントマップ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故データを基に検討・視察 ・市内中学校、プロドライバーの意見交換 			更新版 完成 小中学校 全校へ周知	交通安全ポイントマップ配布 1,000部
街頭キャンペーン	河内松原駅 3回 河内天美駅 1回	河内松原駅 2回 河内天美駅 1回	河内松原駅 3回	—	布忍駅 4回	駅前等 4回
対策委員会の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全ポイントマップの危険箇所の視察、対策 ・街頭での交通安全啓発 					

※2020年 新型コロナウイルスの影響により、街頭キャンペーン実施できず

取り組み③ 危険箇所への対策

指標に基づく測定結果

◆意識・知識（短期指標）

◆態度・行動（中期指標）

（出典：松原市）

	2017	2018	2019	2020	2021
危険箇所の整備及び路面標示件数（参考値）	99件	87件	187件	207件	248件

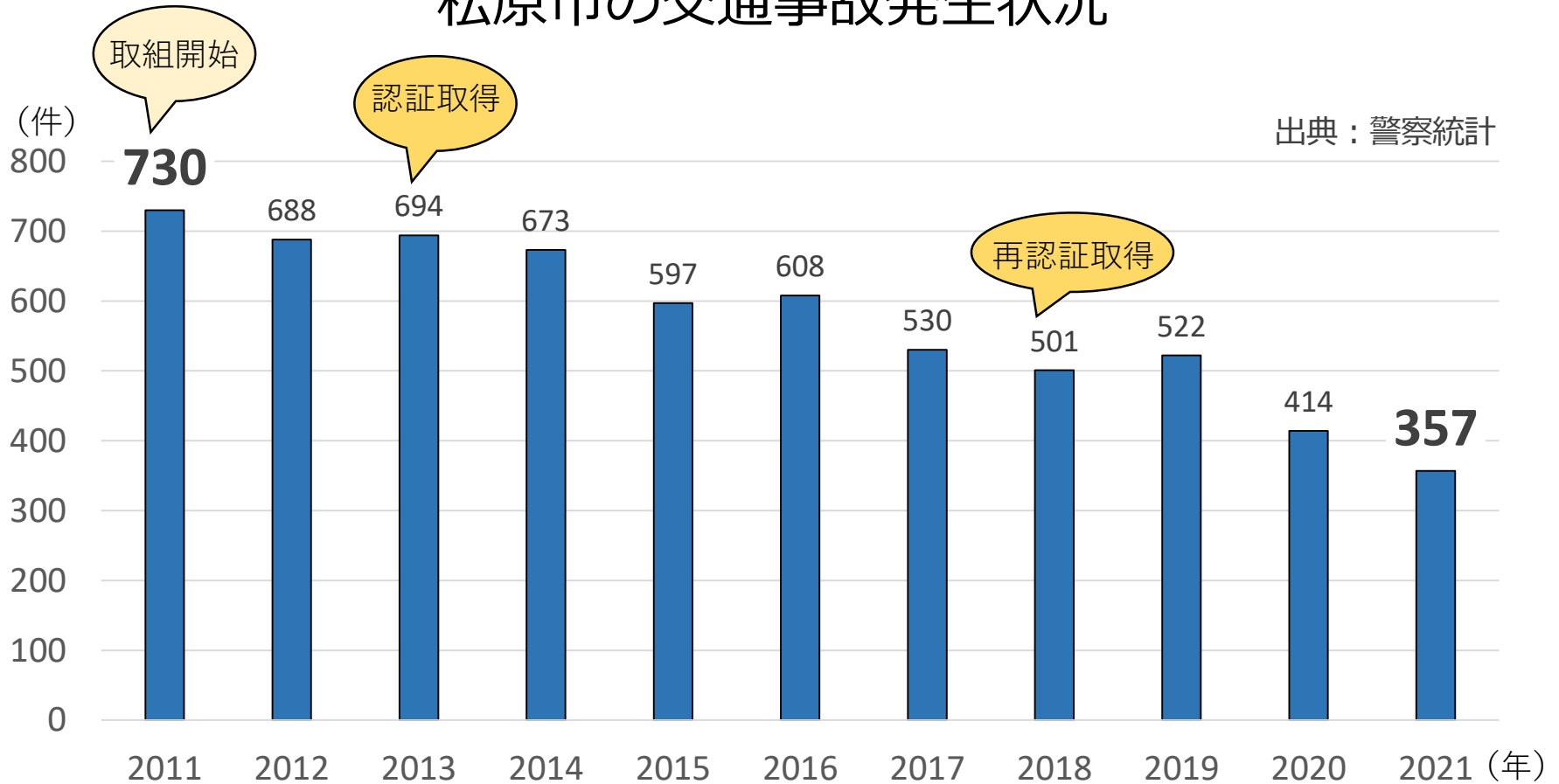
◆状況（長期指標）

（出典：松原市、松原警察）

	2017	2018	2019	2020	2021
自転車事故の内、整備や対策をおこなった箇所での発生件数・割合（参考値）	3件 (3.75%)	2件 (2.02%)	4件 (4.59%)	5件 (2.67%)	3件 (1.44%)

再認証後からの成果①

松原市の交通事故発生状況



交通事故件数は2011年から **51.1%減少**

再認証後からの成果②

1 さまざまな交通安全活動の実施

春・秋の全国交通安全運動、年末の交通事故防止運動、保育園・幼稚園・小学校での交通安全教室、高齢者の交通安全講習などさまざまな交通安全活動を計画実施しています。



2 セーフコミュニティ交通安全対策委員会



セーフコミュニティ交通安全対策委員会を設置し、自転車の安全利用を重点に取り組み中、自転車事故防止の機運を高めるため、平成26年から高齢者自転車大会を実施しています。



3 自転車用ヘルメットの普及と着用

高齢者に対する自転車用ヘルメット購入費の助成を行うとともに、老人クラブなどの協力を得て、高齢者が着用しやすいお洒落な自転車用ヘルメットを作成。自転車用ヘルメットの普及・着用につなげました。



4 交通安全ポイントマップの作成

警察や地域住民と協力し、交通道路の危険箇所や自転車利用者から見た危険箇所を掲載した交通安全ポイントマップを作成。それを基に自転車の出会い頭事故多発箇所を選定、注意喚起の路面標示を設置しました。



対策委員会の様々な取り組みが認められ、
松原市が2018年度交通安全功労者に！！
(内閣府特命大臣より表彰)

現在の課題

◆自転車乗用中の事故の割合が多い。

→交差点等での事故が起こりやすい場所があるため、危険箇所の周知・啓発

◆自転車乗用者のルール違反により交通事故が発生しやすい

→安全不確認等の交通ルール違反をしないための啓発

◆高齢者の頭部受傷率が高く、ヘルメットの着用率が低い

→ヘルメットを着用することで重症化が防げるよう周知・着用啓発

今後の取り組み

再々認証

2022年 2023年 2024年 2025年 2026年 2027年 2028年

取組① 自転車の交通ルール、マナーの周知

- ・ 交通ルール・マナーの周知啓発の推進・SNS等を通じた情報発信
- ・ コロナ禍により実施できない交通安全教室に代わる非接触型の取り組みの実施

取組② ヘルメットの着用啓発

- ・ ヘルメット着用啓発標語を活用した啓発活動・SNS等を通じた情報発信
- ・ ヘルメット購入に伴う着用啓発の広報

取組③ 危険箇所への対策

- ・ 交通安全ポイントマップ更新版の周知
- ・ 街頭啓発活動による啓発

ご清聴ありがとうございました



大阪初!セーフコミュニティ国際認証都市 まつばら

大阪初!セーフコミュニティ国際認証都市まつばら
「みんなでつくる 安心・安全なまちづくり」